
編集後記

近年、分析装置はどんどん自動化が進み、測定からデータ処理までをコンピューターが勝手に行ってくれるようになりました。生産効率を重視する世の中の流れに従ったものですが、果たしてこれが本当にユーザーの利益に結びついているのか、と問われると返答に窮します。構造が単純で、容易にその原理や特性、操作方法が理解できる装置であれば問題無いでしょうが、大型表面分析装置の場合はそうはいきません。装置の自動化が進むにつれ、ハードウェアとソフトウェア両方のブラックボックス化が進み、測定中に何が起きているのかを理解することが難しくなってきたと感じます。

分析技術の向上には、分析装置に対する理解を

深めることが欠かせないと思います。しかし自動化が進んだ現状では、装置を深く理解する技術者が分析現場に不足しているように思えます。

そこで、皆さんに活用していただきたいのが、このJSAです。分析装置の基礎原理から応用までを解説した記事にあふれており、普段使っておられる装置の理解に必ず役立つものと思います。また、装置関係のみならず、総合的に表面分析をバックアップする論文・記事が満載です。さらに、JSAで満足できない方は、ぜひ講演会にご参加ください。そこで聞くベテラン分析技術者のアドバイスは、何物にも代え難いものです。（高橋）

JSA Journal of Surface Analysis

JSA 編集委員会 jsa@sasj.jp Tel: 045-963-3139 Fax: 045-963-4728

編集委員長：阿部芳巳（三菱化学科学技術研究センター）

副編集委員長：吉川英樹（物質・材料研究機構）

編集理事：佐藤美知子（富士通クオリティ・ラボ）

編集委員：井上雅彦（摂南大学）、岩井秀夫（物質・材料研究機構）、大友晋哉（古河電気工業）、木村昌弘（日鉱金属）、境悠治（物質・材料研究機構）、眞田則明（アルバック・ファイ）、鈴木昇（宇都宮大学）、鈴木峰晴（アルバック・ファイ）、高橋和裕（島津製作所）、田沼繁夫（物質・材料研究機構）、中村誠（富士通研究所）、永富隆清（大阪大学）、水谷五郎（北陸先端科学技術大学院大学）

SASJ: International Advisory Board

J. T. Grant (University of Dayton, USA)

H. J. Kang (Chungbuk National University, Korea)

S. Hofmann (Max-Planck-Institute for Metals Research, Germany)

A. Jablonski (Institute of Physical Chemistry, Poland)

C. J. Powell (National Institute of Standards and Technology, USA)

M. P. Seah (National Physical Laboratory, UK)

Y. C. Ling (National Tsing Hua University, Taiwan)

Journal of Surface Analysis Vol. 17, No.1

編集・発行：一般社団法人表面分析研究会

<http://www.sasj.jp/>

2010年6月30日 印刷

2010年6月30日 発行

発行所：〒108-0074 東京都港区高輪 3-6-7

一般社団法人表面分析研究会

電話：03-3473-6878 FAX：03-3473-6862

Printed: June 30, 2010

Published: June 30, 2010

Published by

The Surface Analysis Society of Japan

Takanawa 3-6-7, Minato-ku, Tokyo 108-0074

Tel: +81-3-3473-6878 Fax: +81-3-3473-6862